

## 健康保険組合連合会 大阪中央病院の経営主体の変更について

大阪中央病院は、戦中の医療施設の充実を求める声から、健保連が当時の大同生命の病院を引き継いで、昨年で75年を迎えます。地域の中で特色のある医療を心がけ、地域の医療機関とも連携を図りながら取組み、患者様、健診受診者の方にも信頼されてきた所でございます。

しかし、病院運営の点から考えると、難しい面もあり、健保連の中に検討会を設置し、今後の大阪中央病院のあり方について検討をいろいろ行って参りましたが、①病院経営自体も中長期的に見て財政上楽観できない中で、②病院を支えてきた健保組合、健保連自身の財政が今後更に、非常に厳しくなると見込まれており、検討会の結論を踏まえて、現在、経営主体の変更を検討しています。

最終の組織決定は本年2月の健保連の定時総会を予定していますが、地域のご理解を得た上で、行政に本年春頃に認可申請させていただきたく考えており、具体的な経営主体の変更（事業譲渡）は本年夏頃になるのではないかと考えています。

現在、事業譲渡先としては、医療法人伯鳳会と交渉中です。兵庫県赤穂市が伯鳳会発祥の地で、制度的には別法人ですが同じグループの中には大阪市此花区の大阪暁明館病院などがあります。

医療法人伯鳳会は、現在の大阪中央病院の機能や職員を引き継ぐ形で事業を継承します。

継承後の病院が引き続き地域医療に貢献していくよう地域の医療関係機関との連携に努めてまいります。

<参考>（現）大阪中央病院について

- ・ 開設主体：健康保険組合連合会
- ・ 所在地：大阪市北区梅田3-3-30
- ・ 標榜診療科：内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、皮膚・形成外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科
- ・ 病床機能：急性期143床（急性期一般入院料2）

令和2年1月

健康保険組合連合会 大阪中央病院